

公募予定アイデア①

チリ × 社会福祉(障害者支援)

(相手国政府のニーズを起点とした革新的なアプローチ検証)

面積	756,000km ² (日本の約2倍)
人口	約1,970万人(2023年データ、世銀)
首都	サンティアゴ
GDP成長率	0.2%(2023年時点)
主要産業	鉱業、農林水産業、製造業(食品加工、木材加工)
気候	地中海性気候(中部)
日系人口	約3,600人
宗教	カトリック(70%)
言語	スペイン語
参考リンク	基礎データ 外務省



○背景

- ・チリの障害者人口17.6%（3,300千人、2022年障害者庁調査報告）
- ・障害者の権利遵守のための法制度や社会生活参加推進のための体制は比較的に整備されている
- ・保健省、社会開発家族省、障害者庁、共催会、地方自治体、NGO等が障害者支援を実施
- ・身体障害者のための国立リハビリ病院等がリハビリサービスを提供
- ・障害者人口の39.5%が義肢装具が必要
- ・先天性、事故、糖尿病等の疾患

○現状と課題：

- ・義肢装具を製作している病院が全国で3カ所のみ
- ・国立リハビリ病院では義足は製作されるが、義手は作成されていない
- ・義肢装具は医療保険対象
- ・義肢装具士を育成する専門学校が存在しない
- ・保健省の給与設定に義肢装具士が含まれていないため、義肢装具を製作できる人材が不足している

○現地政府等のニーズ

- 障害者の手足の機能を補い、リハビリテーションサービスを向上し、社会生活参加を推進
- ・義肢装具を申請してから受け入れまで1年以上の待ち時間を短縮する必要がある
 - ・短時間で低コストな義肢装具の提供



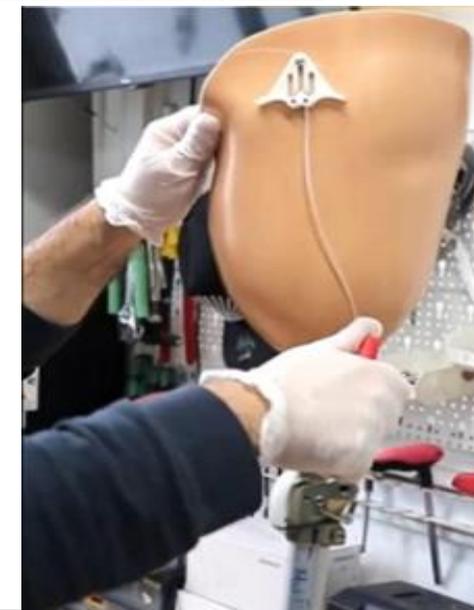
○アイデア1

・国立リハビリ病院を中核に同病院及び地方病院に対して対象患者に適合した義肢（義足・義手）装具を短時間で提供



○アイデア2

・包括的なリハビリテーションを目指した補装具、福祉用具、日常生活用具を提供できるための先進的で革新的な技術導入



○想定される現地のカウンターパート

- ・保健省
- ・国立ペドロ・アギーレ・セルダリハビリテーション病院（INRPAC）

○想定される実証内容

- ・INRPACを利用する患者に短時間で精度の高い義肢装具製作の実証を通じて得た各種情報をもとにビジネスモデル構築。
- ・また、最先端な補装具、福祉用具、日常生活用具について情報提供を行い、新規ビジネスの提案を行う。

○JICA事務所の支援

- ・実証実験等を行うための上記行政機関との協議・合意支援。
- ⇒行政機関への働きかけ、協議・交渉支援。また、現地調査への支援。
- ・現地パートナー探しを支援。
- ・同じような課題を持つ中南米諸国に対して紹介を行い、マーケット拡大のための支援。

義肢装具製作数

